



主な内容

- みんなで取り組む課題----- 2
- お知らせ ----- 3
- 京都支部第24回定期大会----- 4、5
- ひろば ----- 6、7
- 事業団・高齢者・ヘルパー交流集会 8
- 西から東から----- 9
- 社会保障情報 ----- 10
- 行楽(宇治・大吉山から吊り橋散策)11
- 編集後記、まちがいさがし答え ----- 12

発行所

全日本建設交運一般労働組合(建交労)

京都 事業団・高齢者部会

〒601-8103

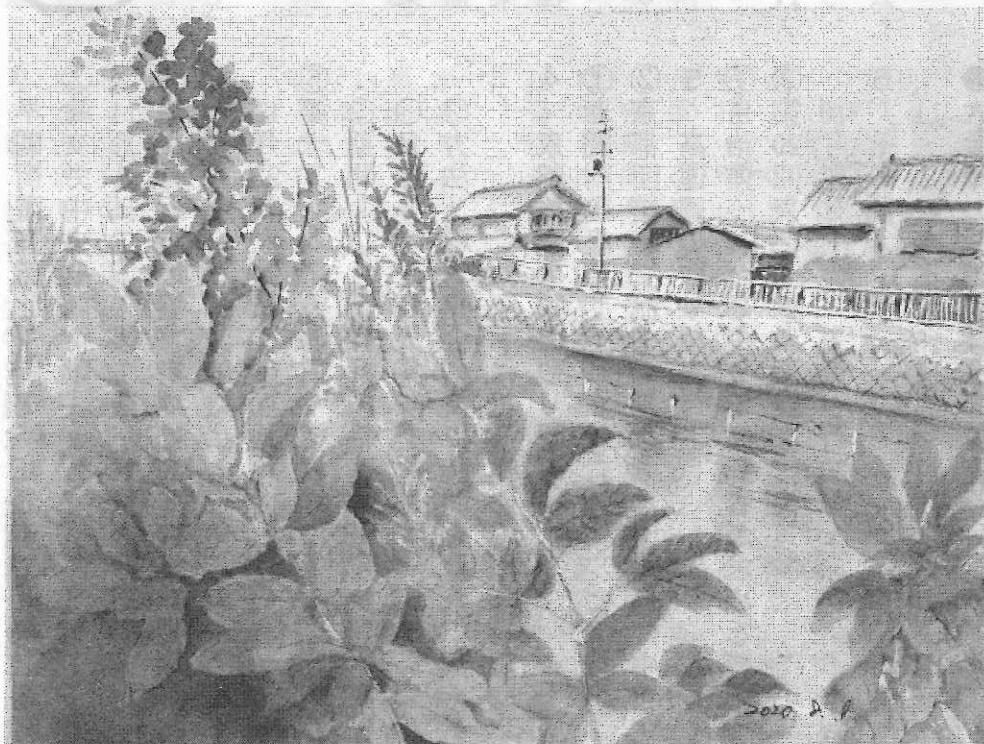
京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地

TEL 075-691-1007 Fax 671-1641

Eメール=kenkourou@titan.ocn.ne.jp

発行日 毎月5日 一部30円

NO. 296 (2020年) 11月号



琵琶湖疎水沿いの風景

上林 常哲

みんなで取り組む課題

京都支部

第12回支部執行委員会が10月14日に開催されました。

1、京都支部・第24回定期大会について

①大会議案について

1号議案||経過報告、方針案。2号議案||京都事業団高齢者部会について。3号議案||決算報告・会計監査報告。4号議案||組合費の改定について。5号議案||予算案。次期推薦支部役員、大会宣言案、大会日程案、大会役員などを確認。

②議案説明の職場集会||10月6日～9日まで、延べ6回行つた。

2、全国事業団・高齢者部会運動の取り組み

①全国事業団高齢者部会第1回幹事会||10月16日～17日（中村）

②第58回事業団・高齢者・ヘルパー介護運動交流集会
10月17日～18日、東京・（京都から4人参加）

3、建交労、府本部の取り組み

①秋の統一宣伝行動 11月5日（木）

早朝街頭宣伝||午前7時45分～ 近鉄上鳥羽口駅
②建交労中央要請行動

11月5日（木）午後1時 東京・厚労省

③建交労近畿地協②定期総会||11月14日【詳細後日】

④建交労中央春闘討論集会

11月23日～24日、伊豆長岡

⑤要求アンケートの取り組み

○期間||11月～12月末目途

○目標||300人集約をめざす。

○方法||職場集会の折に時間を取り、訴える。

「仲間」に折り込んで周知を徹底する。

4、京都総評の秋の取り組み

①春闘討論集会||12月6日（日） ルビノ堀川

②京都団結・交流まつり【コロナ対策で中止】

5、高運連の取り組み

①自治体へ「2019年高齢者が求める要望」提出。

②第20回京都高齢者大会

10月17日（土）午後1時30分～ ラボール京都

6、その他

11・3憲法集会in京都||11月3日・円山野外音楽堂

●大会後の執行委員会の開催予定

第1回 11月18日（水）午後2時から

お知らせ

全国の「高齢者」「介護」 要求アンケートにご協力を

建交労では、全国共通の「高齢者」「介護」要求アンケートを取り組んでいます。組合員全員が記入し回収することにご協力を願っています。国や自治体要請などの貴重な資料となります。

機関誌「仲間」に折り込んでいる「返信用の封筒」(切手不要)でお送りください。

難聴者の補聴器購入に関わる 負担軽減を求める請願署名にご協力を

10月号の「加齢性による難聴者」にふれた記事にあるように、負担軽減を求める請願署名が取り組まれています。組合員の皆さんの御協力を願います。

署名用紙は、機関誌「仲間」に折り込んでいます。アンケートと一緒にお送りください。

建交労京都府本部・女性部

秋の宣伝行動



日時=11月6日(金) 12時~

場所=四条烏丸西南側に集合(元・京都産業会館前)

- ◆宣伝行動の後、食事をしながら楽しくおしゃべりを。
- ◆参加できる方は、木村(ワークセンター)、齋藤(京都事業所)、藤原(京都高齢者福祉事業団)までお知らせ下さい。

生活相談会

075-691-1007

●11月19日(木) ●午後1時30分~3時30分

●京都高齢者会館3階・会議室

※ご利用の方は、事前に支部までご連絡をお願いします

失業と貧乏と戦争に反対し 公的就労事業の確立を 悪政を止めて 憲法と平和と民主主義を守り抜こう！

建交労京都支部第24回定期大会＝10月17日

建交労京都支部の第24回定期大会が、10月24日京都高齢者会館で代議員21名、執行役員18名が出席して開催され、高齢者・失業者の就労促進、介護労働者の待遇改善などの要求実現、組織の拡大・強化と年金・医療改悪阻止などの運動を強めることを確認し、提案された全議案が採択され、新執行部が選出されました。

大会は、中井副委員長の司会で始まり、議長に木谷代議員（宇治分会）と小崎代議員（ワークセンター）が選出され、続いて、資格審査・運営委員長に橋本執行委員、選挙管理委員長に山本代議員、大会書記に山内書記次長を選任されました。

最初に、中村委員長が挨拶【別稿】を述べて、続いて来賓として、府本部

の早田書記長からコロナ禍の中で失業者が増えている。生活を守るたたかいが大事。京都高齢者福祉事業団の斎藤理事長からはコロナ禍の中で厳しい状況もあるが、団員の頑張りが認められ、仕事が続ければおり、人手不足の状況を改善して共に頑張っていこう。と激励の挨拶を受けました。

議事に入つて、松永書記長から第1号議案の19年度たかい、中村委員長が20年度の方針案の提案

第2号議案の京都事業団高齢者部会の扱いについて、第3号議案の決算報告を行いました。続いて原田会計監査委員から19年度決算についての会計監査報告を行い、議案の最後に第4号議案の組合費の改定についてと第5号議案の20年度予算案の提案を中村委員長が行いました。



来賓の方々と

寄せられたメッセージ

(◎=来賓、○=メッセージ)

◎建交労京都府本部：早田書記長、◎京都高齢者福祉事業団：斎藤理事長、○建交労・全国事業団高齢者部会、○建交労関西合同支部、○宇治高齢者事業団○年金者組合南支部、○南区生健会、○南革新懐、○日本共産党国会議員団

休憩の後、討論が行われ、人から職場要求の改善や共同事業の課題、当面の取り組み課題である「大阪都構想問題」「学術会議任命拒否問題」などについて発言があり、その後、松永書記長がまとめを行いました。

続いて、1号から5号議案について挙手にて採決を行い、全議案が全員一致で採択されました。新役員の選挙では、信任投票となり、無記名投票の結果、

（5） 休憩の後、討論が行われ、人から職場要求の改善や共同事業の課題、当面の取り組み課題である「大阪都構想問題」「学術会議任命拒否問題」などについて発言があり、その後、松永書記長がまとめを行いました。

続いて、1号から5号議案について挙手にて採決を行い、全議案が全員一致で採択されました。新役員の選挙では、信任投票となり、無記名投票の結果、

休憩の後、討論が行われ、人から職場要求の改善や共同事業の課題、当面の取り組み課題である「大阪都構想問題」「学術会議任命拒否問題」などについて発言があり、その後、松永書記長がまとめを行いました。

続いて、1号から5号議案について挙手にて採決を行い、全議案が全員一致で採択されました。新役員の選挙では、信任投票となり、無記名投票の結果、

京都支部・2020年度役員

役職	氏名	所 属
委員長	中村 崇	再 組合専従
副委員長	木ノ下貴之	再 京都事業団
副委員長	中井 正	再 リーシャル 京都
書記長	松永雅明	再 京都事業団
書記次長	山内 登	再 ワークセンター
執行委員	青木弘毅	再 京都事業団
執行委員	洗 宣子	再 京都事業団
執行委員	岡山昭人	再 リーシャル 京都
執行委員	嘉村 茂	再 宇治分会
執行委員	北尾孝次	再 京都事業団
執行委員	小崎敏郎	新 ワークセンター
執行委員	中村 親	再 京都事業団
執行委員	橋本厚男	再 京都事業団
執行委員	松本恵美子	再 京都事業団
執行委員	望月美佐子	再 京都事業団
執行委員	焼山虎治	再 シルバーウエーブ 西浦
執行委員	山田憲治	再 京都事業団
会計監査	原田康正	再 ワークセンター
会計監査	山岡春雄	再 京都事業団

改訂された組合費一覧表

月 収 額	組合費
10,001円～ 20,000円	600円
20,001円～ 30,000円	700円
30,001円～ 50,000円	800円
50,001円～ 60,001円	1,000円
60,001円～ 80,001円	1,300円
80,001円～110,000円	1,600円
110,001円～150,000円	1,800円
150,001円～180,000円	2,300円
180,001円以上	2,800円

その他の収入(一時金)臨時組合費

夏季一時金	3,000円
年末一時金	4,000円

建交労中央の「月刊機関誌：建交労」は月額250円です。



左から 山岡、岡山、木ノ下、松本、焼山、山田、中村、北尾、青木、橋本、中村、小崎、松永、望月、中井、山内、洗、嘉村、原田の執行委員・会計監査委員の皆さん。

第24回京都高齢者大会写真

24日 京都高齢者会館
CTG 全日本建設交通一組労働組合

議長の木谷さんと小崎さん
来賓の斎藤さんと早田さん
発言する代議員の皆さん
敬老乗車

開会挨拶する
中井副委員長、
↑議案報告す
る松永書記長、
→大会宣言を提
案する山田執行
委員

第24回定期大会写真II



第24回定期大会写真II

大会は、名前の如く高齢者の集会ですから、コロナ対策は検温・マスク着用・密を避ける参加者の配置など入念に行われていて、例年なら午前に分科会、午後から全体集会でしたが、今年は分科会が無く昼からの全体集会のみでした。参加者は全体で131名、京都支部からは6名が参加しました。

集会は、挨拶の後、記念公演として落語家・桂三扇(かつらさんせん)師の「落語で笑つて元氣に!」の落語から始まりました。私は、落語を生でしかも30分以上しっかりと聞いたのは初めてで落語の良さと、噺家の話し方の旨さ、観衆を引き付ける話し方に感銘を受けました。

後半は

大会は、名前の如く高齢者の集会ですから、コロナ対策は検温・マスク着用・密を避ける参加者の配置など入念に行われていて、例年なら午前に分科会、午後から全体集会のみでした。参加者は全体で131名、京都支部からは6名が参加しました。

集会は、挨拶の後、記

ひろば

第20回京都高齢者大会に参加して

ワークセンター

山内 登

大会は、名前の如く高齢者の集会ですから、コロナ対策は検温・マスク着用・密を避ける参加者の配置など入念に行われていて、例年なら午前に分科会、午後から全体集会のみでした。参加者は全体で131名、京都支部からは6名が参加しました。

集会は、挨拶の後、記

事業団・高齢者・介護ヘルパー運動 交流集会に参加しての一言感想

交流集会参加者からコメントを頂きました。

①記念講演を聞いて

★ 明治政府が遅れて外交にふみだした日本の事情と列強に肩をならべた

情について、満州事変から太平洋戦争終結までの15

年の経過について、戦前

の歴史を学ぶことができ

ました。1つ1つの出来事には、すべて理由があ

ることも学びました。

★ 第二次大戦に至った

経緯が理解でき、また原爆投下の思惑もはつきりし、勉強になりました。

②福山事業団の藤井康子さん

の話をして聞いて

11月のまちがいさがし

まちがいが7カ所。
さて、どこに? 答えは12ページ



川柳

京都高齢者福祉事業団・OB

池田 東一

証改悪阻止の訴え、コロナ渦の医療・介護の状況、子どもと教育・少人数級、コロナ渦の青年の実態、コロナ渦での中小業者の実態と対策など、5つ分野から報告がありました、教育現場では経験のないことで子どもたちも先生も動搖している。分散登校の中では自然と15人学級になり、子供たち一人ひとりは雨のため中止となる後のパレードは雨のため早々と帰宅しました。

りの様子がよくわかります。たなどの報告があります。

隠し事 何にも無いよと 腹割って 話すつもりが 背を割られ簗に干され それでも未練海見てる

恋の傷 思い出させる 夕渚

孤独だけ 我れに残して 日は沈む

家屋敷 車に積めず 故郷捨てた

山林も 有るが都会に 薪いらぬ

山芋は 瓜坊連れた 猪が掘る

ふるさとの 夜は煌めく 星の空

八十路過ぎ ライバルなんて もう居ない

暇潰す 余生の趣味に 五七五

年輪も 一緒に煮込む 妻の味

富士山を 翳すもみじが 有る写真

初恋が 膨む様な シヤボン玉

さりげなく それが運命か 消える虹

山陰も 日向に出るか ジオパーク

すぐ生きてこられたことはほとんど奇跡だと思いま

す。自己責任が強調さ

れる社会から、共に支え

合う社会へ、変えていく

ことが大切と再確認しま

した。

③分科会・事業団運動

★ この分科会は初めて

の参加とにかく勉強のためと参加しました。

全国で様々な環境でい

ろんな工夫がされている

ことが活かされて学習になりました。現在の情勢

に合わせた工夫が、必要

との発言に、そういう視

点に立つ必要を受け止め

ることができました。

生活困窮者自立支援 法の認定事業所として活動の報告を若干聞きましたので、どのように自治体に策が立てられるのかをもう少し確認してそれを活かしていきたい。全国のいろいろな情報を発信して、役立てる体制などを確立してほしい。

③分科会・組合運動

★ 事業団運動への理解

のなさが指摘されてまし

たが、組合組織としては

ピラミッド型で良いのだ

はと思います。まずは組合に入つてもらい徐々に勉強・活動をしてもらう

のでOKでは

第58回事業団・高齢者・介護ヘルパー運動交流集会

運動や事業の経験を交流



講師の高橋さん

報告で、①事業団運動50年の歩み出版について

最初に、記念講演で原水爆禁止広島県協議会・代理理事の高橋信雄さんから「廣島とヒロシマから加害と被害の歴史に学ぶ」と題して豊富な資料を元に、戦争の悲惨さ、日本と朝鮮の歴史的な関係、加害者と被害者、人権問題も含めて時間一杯に話されました。

続いて、特別報告で、①事業団などにおける組合活動、②民

集会の1日目は安藤副部会長の開会挨拶と中村部会長の挨拶で始まりました。

最初に、記念講演で原水爆禁止広島県協議会・代理理事の高橋信雄さんから「廣島とヒロシマから加害と被害の歴史に学ぶ」と題して豊富な資料を元に、戦争の悲惨さ、日本と朝鮮の歴史的な関係、加害者と被害者、人権問題も含めて時間一杯に話されました。

出版責任者)、②事業対策委員会からの問題提起(高木委員長)を報告され、その後、福山事業団代表理事の藤井康子さんが「懸命に生きて」と題して戦前から戦後の厳しい生き様をとつとつと心打たれる話をされました。

最後に各分科会からの報告と、山室事務局長から全体の簡単なまとめが行われ、来年は震災10周年になるので東北方面で開催することが確認され、中村部会長の「団結がんばろう」で終了しました。

・事業拡大】に分かれ、夕方まで意見交換などが行われました。夕食交流会は、12都道府県からの参加者で「大人の交流宴会」がもたれ、元気よく乾杯を行った後、地方ごとの自己紹介と懇談・交流を中心に行われました。

2日目は、9時から分科会に分かれ、それぞれ厳しい中で創意工夫して取り組まれていることの報告や意見交換と交流が昨日に続いて行われました。

2日目は、9時から分科会に分かれ、それぞれ厳しい中で創意工夫して取り組まれていることの報告や意見交換と交流が昨日に続いて行われました。



分科会の参加者たち



元気いっぱいに乾杯！



■ 改憲ノーと学術会議任命拒否

10月9日、安倍9条改憲ノー

市民アクション
京都が主催して

「改憲ノー決起集会」が行われま

した。記念講演は渡辺治一橋大学名誉教授が「安保60年と日本国憲法」安倍亡き安倍政治は許さない」と題して東京で行われた講演の動画が放映されました。

渡辺氏は、安保60年間は、安保条約の軍事同盟化を実現したいアメリカや自民党政権と、憲法を武器とする「九条の会」など市民運動とのたたかいで安倍改憲を阻止してきたことを強調されました。また、菅政権は安倍政権から改憲をも引き継いでおり、その危険性を強調し、われわれは観客ではない。改憲阻止の運動を盛り上げ、市民と野党の共闘で総選挙に勝つ

ため頑張ろうと訴えられました。

■ 「大阪市廃止＝都構想は反対」で

大阪へ応援に

10月25日、地域

の仲間と「大阪市廃止＝都構想は反対」の呼びかけで



大阪へ応援に行つ

てきました。

午前中は、他の応援部隊と5人でハンドマイクで宣伝、午後はスーパー前でシールアンケートを集めました。

宣伝中、30代ぐらいの女性がビラを受け取り「私は反対です」と言つたり、自転車の女性が手を振るなど好意的な反応がある一方、「私は賛成です」と云う人など緊迫した情勢を実感しました。

シールアンケートでは、大多数が大阪市廃止に「反対」を表明されていました。しかし、シール投

票をしてない人が多いのでこれだけ世論は計れないと思いました。

最終日までどれだけ頑張るかで勝負は決まるだろうと思ひながら帰路につきましたが、この日は、天気も良く歩数計を見たら1万5千歩を超えていました。（山内）

■ 市民の声で「市税減免廃止」議決させず

9月市議会に門川市長が提案していた「市税減免の廃止」条例案が本会議で議決されず、継続審査となりました。この条例案は所得の低い市民約5万人に対し、新たに市民税の負担を求めるものです。それだけに止まらず、国民健康保険や後期高齢者医療の高額療養費、介護保険の施設居宅サービス補足給付などの負担額も引き上げられるものです。今回は継続となりましたが、11月の議会で議決が狙われており、撤回を求めています。

社会保障情報

11月5日の事業団・高齢者部会の厚労省への要請項目を紹介します。

1. 高齢者就労対策について

年金だけでは生活することができ困難な高齢者が増加し、生活保護を受給する高齢者も増えている。高齢者就労の促進は喫緊の課題となつており、地方自治法施行令第167条の2第1項第3号に沿つて、高齢者就労を自主的に進めている高齢者事業団などが優先発注を受けることを可能とする「シルバー人材センターに準ずる団体の認定基準」を作成するよう地方自治体に要請すること。

ても就労日数や時間が削減され生活が維持できなくなつた困窮者が相談に訪れている。

また、中学や高校の進路選択の時期に入り、学費の問題から進学を断念する生徒や、大学生も休学または退学して就活を開始する若者が増加している。

失業保険、持続化給付金や一時生活支援金でしのいできた市民も就職戦線に加わり、年末から年度末以降の就活はさらに厳しくなり、有効求人倍率⁵5倍台に達する地域では、生活が切迫する状態が心配されている。

3. 最低賃金改定の対応について

(3) 住む場所を失つた市民が制度に阻まれ野宿することがないよう、公の空き室調査から柔軟に住まいを提供できる対策を早期に開始すること。

2. 生活困窮者自立支援について

(1) 想定される事態に就労や雇用対策の強化を進め、地元の受け皿となる認定事業所等を活用するなど、働く場所の創出から市民生活の安定につなげた対応を各自治体に要請すること。

(2) 困窮者の多くが、直前まで他人や自治体に頼らず自力で解決しようとしている。相談窓口で

これまでの困窮者に加えて、新型コロナ感染拡大により、企業は経営を維持するため事業の縮小や退職勧奨やリストラを始め、働いても就労日数や時間が削減され生活が維持できなくなつた困窮者が相談に訪れている。

また、中学や高校の進路選択の時期に入り、学費の問題から進学を断念する生徒や、大学生も休学または退学して就活を開始する若者が増加している。

失業保険、持続化給付金や一時生活支援金でしのいできた市民も就職戦線に加わり、年末から年度末以降の就活はさらに厳しくなり、有効求人倍率⁵5倍台に達する地域では、生活が切迫する状態が心配されている。

最低賃金の改定が行われた場合は自治体発注の公共工事や業務委託事業については、ただちに当該自治体が契約金額を適正に見直し、改定額を反映した賃金が事業に従事する労働者に確実に支払われるよう、「令和2年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針（令和2年10月2日閣議決定）」に基づき指導を徹底すること。契約金額を見直さず安易に労働日数・労働時間の削減などを行なうことのないよう、全自治体に対しても文書により周知徹底し改善を確認すること。

興聖寺の鐘楼



宇治の街並み



行楽

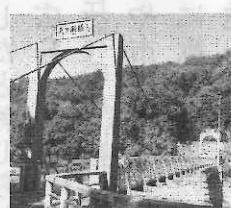
宇治橋周辺は見どころとかかず

大吉山から吊り橋を散策
京都支部 中村 崇

秋晴れの好天の日、宇治の天ヶ瀬ダム方面を歩いてみようと出かけました。京阪・宇治駅で降りて、まずは地図を見ると「大吉山展望台」とあつたので、そこをめざし宇治川に沿うて朝霧通りからさわらびの道に入り山道を歩き、道は石ころや岩肌がむき出しになつて歩きにくかつたが、頂上(132m)の展望台から見ると、宇治の街並みや西山までの絶景を眺めることができました。休息の後、別方向に下り、興聖寺へ出ました。興聖寺は鎌倉時代に創建され、僧侶の育生をめざす修行道場として全国最初に開かれ、曹洞宗最古の寺院で、江戸初期に宇治にて再興され現在に至ると書かれていました。

山門と薬医門をくぐつたところにある法堂前の美しい石組で構成された枯山水の庭園までは無料で拝観できます。再び宇治川に沿つて歩き出し、しばらく

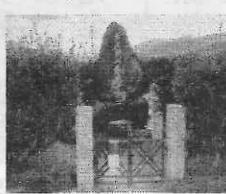
天ヶ瀬の吊り橋



「行止め」の看板。どうするか迷つて先を見ると橋が見え、これを渡つて対岸を歩いて戻ろうと予定変更。

見えた橋は「天ヶ瀬吊り橋」でリニ

ューアルされたらしく、まだ木の香りがしていました。少し揺れる橋を渡り、府道3号線を舟園の看板、ここは宇治が生んだ戦前、治安維持法・侵略戦争反対を主張し右翼に刺殺された「山本宣治資料館」と墓を訪れたことがあります。数年前に仲間と「山本宣治資料館」と墓を訪れたことがあります。ここから小高い丘へ登ると善宝寺がありそこに「山宣ひとり孤塚を守るだが私は寂しくない背後には大衆が支持しているから」という文字が刻まれていました。



山本宣治の墓

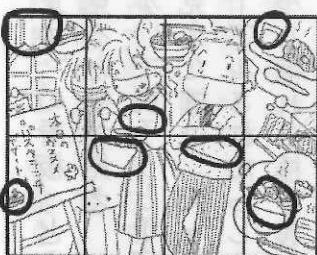


編集後記

◇核兵器禁止条約は、遂に50カ国が批准し、来年1月22日に発効することとなつた。2017年7月7日に国連において122カ国の賛成で採択され、署名を85カ国が行い、10月24日にホンジュラスが批准し、批准国が50カ国に達した。

◇京都支部の大会議案書を書いていた8月頃は44カ国だったのが、議案書説明の職場集会の時は47カ国。そして大会当日の24日の朝の新聞に50カ国に達したと報じられた。◇この到達は広島・長崎の被爆者をはじめ、「核兵器のない世界」を求める多くの国や市民団体の歴史的な成果と大いに歓迎したい。

◇この時、世界で唯一の被爆国で



思ふ。・批准を求めます」の一点での国民的合意を求める署名を取り組まれる。私たちも強めたいと思う。(中)

ある日本の政府は、菅首相が禁止条約に背を向け、署名する考えはないと国会答弁で表明するという態度をとっている。これでは政権を変えることしかない。◇この禁止条約は、核兵器の非人道性を告発し、その開発、実験、生産、保有から威嚇に至るまで全面的に禁止して違法化し、完全廃絶までの枠組みと道筋を明記して、「必要悪」から「絶対悪」と国際法で定めた。

◇政府が署名と批准を行うよう運動を強めるため、日本原水協が多数の呼びかけ人と共に「私たちは日本政府に核兵器禁止条約の署名